

利用者懇談会 平成20年度

平成20年度第2回国分寺市図書館利用者懇談会（もとまち図書館）

日 時 平成20年12月9日（火）午後5時～6時30分
場 所 もとまち図書館 参考資料コーナー
参加者 市民2人

1. 利用者用端末機の説明

Webでの「ズームサイト」の紹介

本多図書館駅前分館商用データベースの紹介

意見：将来はデータベースが図書館の売りになるのか。

図書館：使っていただければと思います。

意見：国分寺市の図書館でなければないみたいなデータベースがあるといい。

意見：インターネットの無料サイト情報の中で、「マイタウン多摩」はアサヒタウンズとは違うのか。

図書館：アサヒタウンズではなく、朝日新聞の地域情報です。

2. 図書館からの説明

① 新書・文庫が探しにくいので、探しやすいように並べました。新書は、講談社現代新書を別置しています。岩波新書・中公新書は今まで別置していましたが単行本の棚に混ぜ始めました。文庫本は、ラベルを貼らず、著者名順にならべていましたが、ラベルを貼り、分類番号をつけ番号順に並べ始めました。今年度中に作業を終える予定です。例えば文庫を検索して「Bの210.5はどこか」と聞かれた時に、今までは書いた人を検索し直さないとたどり着けなかったが、分類番号通りに探せばよくなります。

② YAコーナーを3段分広げました。

③ 文庫本の整理の過程で棚が空いたので、話題の本や紹介したい本の展示コーナーを作りました。

意見：本がぎちぎちに入っていると取りにくいこともあるが、たくさん本があるというのも、利用者としてはうれしい。

意見：確かに本がぎちぎちに詰まっていると取りにくいし、あまり高い本棚は手が届かないので取っていただければと思う。

3. 図書館への意見・質問

図書館：利用者懇談会の持ち方についてはいかがでしょう。

意見：利用者懇談会のメリットがあるとよいという要望が、せっかく実現したのに、チラシの字が小さすぎて、わからなかった。残念。

意見：市民の感覚で言わせてもらおうと、キャッチコピーをつけると良いかもしれない。「図書館通になろう！」など。

意見：各館で書架の配置や変わっているところがあるから、図書館をよく知るためになどとしたら来てくれるだろうか。

意見：その図書館ごとに違う報告があるのだから別々にチラシなどを作るのはどうか。

意見：今回参加者が少ないのは、夕方のこの時間帯が厳しいものがあるのも一因ではないか。7時だと高齢者は無理。

意見：図書館というところは大方の人にとっては一部の人のもので、自分とは関係ないものだと思う。

意見：利用者懇談会という名前の問題かもしれない。

意見：「利用者懇談会だとしゃべらないとだめなの」と良く言われる。懇談会より情報をもらえろというアピールをしたらどうか。図書館初心者でも図書館のことでもわかるということがあれば良いのでは。

意見：ハードルが高くなってしまうのか。

意見：要望・希望・苦情を普段お世話になっている所に訴えるというのが出来ない。

意見：中高生に声をかけてこの人たちに聞いてみて、設定したのかと思った。

図書館：カウンターについてはいかがでしょうか。

意見：にこやかにしてもらった方が良い。図書館の職員は忙しくて、笑顔がないと気になることもある。

図書館：忙しくても、カウンターに出たときはにこやかにするのがプロの意識ではないかと思います。

意見：「ありがとうございます」といわれるのが、違和感がある。サービスなのかと思うが、こちらの方がありがとうと言いたいのだが。

図書館：職員からすると、利用していただいてありがとうという気持ちなのですが。

意見：自分の方がありがとうと言いたい。悪い気はしないがこそばゆい。

図書館：最後に何も言わないよりは、なにか言葉を使って言いたいということです。

意見：貸出しを受ける時に、「次に予約の人がいます」といわれて急いで読んだ。慌てて読んだが、言われたことはすごく良かったと思う。対話があるのは良いと思う。

意見：聞くとすぐ本棚を見てくれる。そういうところは、フットワークが軽い。

意見：コミュニケーションがとれる。

意見：長崎県の昔話「ゆうれい井戸」を調べてもらった。ありがたく思う

のは、該当部分に目印の紙を挟んでくれること。

意見：なるべくリクエストの電話は経費に係るので気をつかい、よくカウンターで用意ができているかを確認しているが、それでも連絡を貰って申し訳ないと思う。家族のパソコンを使って確認できるが、その人がいないとパソコンは使用できないため、連絡方法は電話となってしまう。

図書館：リクエストの数が多くなってきており、4年前に比べると倍になってきています。

意見：100人待っているから面白そうだとリクエストを入れることがある。

4. 子ども読書活動推進計画について

図書館：12月15日号の市報に記事が出ます。

意見：パブリック・コメントの結果がどうなったのか気になる。評価委員会が反映されたのかのどうか。

図書館：意見をいただいた評価委員会は、どちらかという行政内で行うことを書かれていました。こちらでは、行政内でなくて、市民参加でと思っています。評価表を早めに図書館運営協議会に提出し、話をしながら進めていきたいと思っています。

平成20年度第2回国分寺市図書館利用者懇談会（光図書館）

日時	平成20年12月16日（火）	午前9時30分～11時
場所	光図書館・光公民館	中会議室
参加者	市民3人	

1. 利用者用端末機の説明

本多図書館駅前分館商用データベースの紹介

意見：都立図書館の本についている書誌No. や請求記号で検索できるか？

図書館：できません。国分寺市の図書館で所蔵している資料のみ検索できません。

意見：国分寺市で所蔵していない本は調べてもらえるのか。

図書館：お調べして、都立や他市図書館、全国の図書館から可能なかぎり取り寄せし、ご提供しています。

意見：レシート印刷はどういう時にできるか。

図書館：検索結果一覧はできないが、次に指定した本の情報が印刷できます。

意見：ある年以前に出版された本というのは検索できるか。

図書館：出版年の項目に、〇〇〇〇年～〇〇〇〇年と入力すればできます。

図書館：図書館のホームページで「ズームサイト」をダウンロードできます。

音声での読み上げや文字の拡大、読み仮名をふる、画面の白黒反転などができるのでお試しいただきたい。

2. 図書館サービスについて

意見：新システム導入時に、恋ヶ窪図書館で利用者用端末機を使う人たちの様子をしばらく見ていた。高齢者は一様に非常に戸惑っていた。職員は忙しそうでわざわざ聞けないので、利用方法の書いてある冊子を作ってほしい。冊子だと、場所を移してゆっくり読んでから端末機に向える。

図書館：必要と思われる表示は出していますが、さらに詳しい表示を考えたい。困っている方にはフローアで声をかけ説明をすることを心掛けているが、コンパクトな冊子の作成も考えていきたい。端末機の“ヘルプ”ボタンを押していただくと画面上で使い方がわかるようになっていきます。

意見：かけあわせ検索ができるようになり便利である反面、不慣れな高齢者にはかえって難しい。

図書館：無理に項目をいくつも入れなくても、使い易い方法で検索していただきたい。

意見：ジョークに関する本を探したくて、書名に“ジョーク”と入れると、「職」に関する本など全く異なるものがたくさん出できて、困った。

図書館：濁音や長音は区別なく検索されるので、ことばを言い換えて検索していただきたい。

意見：雑誌の特集記事から検索ができるようにしてほしい。

図書館：雑誌の特集記事は入力をしていません。特集から探している方には、職員が出版社のホームページなどで検索し、情報提供するようにしています。特集記事名が求められる雑誌は数が限られていると思うので検討したいと思います。

意見：雑誌の一覧がみたい。

図書館：所蔵雑誌の一覧は利用者用端末機では見られませんが、図書館ホームページに載せています。都立図書館のホームページからは都内の公共図書館で所蔵している新聞・雑誌の一覧も見られます。

意見：スペースの問題について、各館長と課長が集まって5館で検討してほしい。横になっている本が多い。スペースは限られているのだから現状をいじる事でどうにかしなければいけない。全集や文庫などはどこか一つの館に決めて、複数館で持たずに空いたスペースを利用してはどうか。

図書館：横積みの本や手前と奥の2重になっている本など、整理するように常々各館に指示しています。図書館としては、来館者の様々なニ

ーズに、その場で自館にある資料ですぐに応えたいという気持ちが強いので、各館が重複して所蔵している本もあります。

図書館：所蔵を館ごとに特色づけることで、来館時に「こんな基本図書がなぜ図書館にないのか」とか、取り寄せの不便などを感じる事にならないでしょうか。

意見：ベーシックな本は各館が持っていてほしい。家の本を整理する時に、近くの図書館が所蔵していれば安心して処分できる。

意見：取り寄せがスムーズにできればいい。検索機が使い易くなればいい。各館が基本図書を持ちたいのはよくわかるが、そこを割り切って徹底しなければ、スペースの問題は解決しないので、職員全体で討議してほしい。また、シリーズの中の一冊を買うと、他の物全てを揃えようとするのは、いかがなものか。

図書館：ここ 10 数年は市内で整理して、全集などは重複して所蔵しないようにしています。他の館にあるものは事務室にしまうなど、スペース確保に努力しています。古い基本図書は各館で持っているの、その再検討が必要であると思います。

意見：仏文の専門的な本も図書館で紹介していただいて、とても助かった。良い本、面白い本を紹介してもらえるのも図書館だと思っている。

意見：週刊ブックレビューで紹介された本は、次の日に来てもいつも貸出しされている。市民の関心の高さが覗われる。岩波やちくまの新刊案内に出た本を探してもないことが多い。

意見：図書館運営協議会の答申について、他市の状況ばかり調べていて、市内の図書館の実情をしっかりと見つめていない。

図書館：今回の答申は、教育委員会からの大きくとらえた諮問に答えたものであり、中央図書館の必要性や図書館空白地帯に図書館をつくる問題などの答申でした。次は国分寺市の個別の細かいサービスについて協議していただきたいと思っています。

意見：図書館は“人”が大事という話をしたい。オーストラリアに滞在中、現地の図書館では月 1 回アダルトブッククラブという図書館主催の会があった。図書館が用意した本を全員で読み、読后感想を述べ合う会である。図書館はいろいろな本を紹介し、移民の国であるため、言葉を教える役目も背負っていた。

意見：フランスに滞在中に図書館を利用したが、そこの図書館員はとてもフレンドリーで、話好きであった。日本の図書館員はカウンターに座っているだけで、話かけにくい。

意見：人は 1 日に最低、10 人と話をし、10 回は笑うことが必要であるという。これは特に高齢者にとっては大事なことである。人と話す機会を得る場としても、図書館は大切な公共機関である。

意見：書店ではそれを売る人の態度が大事である。図書館も同じで、カウンターの人への対応の良さがさらに求められる。その努力をすることで、図書館を多くの人により良く利用してもらえる。

図書館：たいへんよいお話を伺いました。努力していきます。職員にはどうぞ、お気軽にお声をかけてください。

平成 20 年度第 2 回国分寺市図書館利用者懇談会（並木図書館）

日 時 平成 21 年 1 月 16 日（金） 午前 9 時 30 分～11 時
場 所 並木図書館・並木公民館 小会議室
参加者 市民 3 人

1. 利用者用端末機の説明

本多図書館駅前分館商用データベースの紹介

2. 図書館サービスについて

意見：利用者用端末機の利用の仕方について、閲覧用テーブルで新聞を読んでいる高齢の利用者へ声掛けをして、利用の仕方について説明するなどの手間を惜しまないようにすれば、いずれロコミ等で利用が広がっていくのではないかと。図書館がフォローすることが大事である。

意見：利用者用端末機をもう一台、新聞閲覧用テーブルの傍に置くことはできないか。イスに腰掛けてできるようにすれば、高齢者にとって楽に利用できるのではないかと。いずれにしても、高齢者が興味を持てるようにすることである。

図書館：利用者用端末機を置けるスペースとコストの問題があります。新聞閲覧用テーブルの傍らでは、利用者用端末機のディスプレイが他の利用者の目に触れやすくなり、プライバシー保護の点から難しいところがあります。

意見：利用者用端末機のタッチパネルをもう少し利用していただくよう、努力・工夫をしていただきたい。

意見：中高生が調べもののできる場所がほしい。

意見：カウンターでの接客について、一層の改善・向上を図ってほしい。利用者からの問いかけには、はっきりした言葉での受け答え、笑顔での対応、隣のカウンターに並んでいる利用者がいたら、臨機応変に自分のカウンターへ誘導するなど常に気を配り、市民がいつも気持ちよく図書館を利用できるよう、職員は一層の努力・工夫を心がけてほしい。

図書館：職員の不十分な接客態度から利用者に不快な思いをさせていること

を職員全員が深く反省し、今後、市民に快適に図書館を利用していただけるよう、接客に一層の向上を図っていきたいと思います。

意見：現在の新聞・雑誌閲覧用テーブルとイス・ソファの環境はあまりいいとは言えないのではないかと。効率が悪いように思えるし、特に女性はあまり腰掛けたくないようだ。本多図書館の場合、その配置はスッキリしているようなので、参考にしてほしい。

意見：新聞・雑誌閲覧コーナーは改善した方がいいのではないかと。新聞・雑誌を読んでいる人がソファを占領してしまっていたり、時に居眠りしている人もいたりして、他の人が利用者できないこともある。もっと効率的な使い方を考えてほしい。

意見：書架の各コーナーに置いてある小さなイスで本を読んでいる人がいるが、気の毒だと思う。

図書館：書架コーナーのイスは、少しの間腰掛けて本を読む時に利用されており、好んで利用している方もいらっしゃいます。

意見：児童書のコーナーはかなり広く感じる。また、一般書と児童書のコーナーをきちっと仕切りすぎるのではないかと。

図書館：きちっと分けていることは、防犯上児童書のコーナーは一般書コーナーより比較的安全であることと、多少子どもが声を出しても許されるという面があります。

意見：並木は図書館が2階にあるので、利用目的がはっきりしており、公民館の利用者と一緒にならないので、子どもの防犯上好ましいと思う。

意見：1階の公民館市民サロン室に図書館雑誌コーナーを持っていくことはできないか。利用度が高くなると思うが、公民館と図書館は接点が少ないと思うので、図書館からの声掛けがあってもよい。

意見：あの室はピアノを置いてレッスン室にして欲しいという要望もあったのではないかと。

意見：公民館と図書館の連携をどうするかという上から、公民館も考えているようだ。

図書館：公民館として雑誌を置くことはいいが、図書館の雑誌を置くことは管理上難しいのではないかと。公民館と図書館の協働はいいことです。何かいい利用方法があったら提案していただきたい。

意見：児童書コーナーのテーブルと小さなイスのあるスペースや、絵本コーナーのベンチ式イスのあるスペースは、並木独自のいい空間であると思う。

意見：テーブルと小さなイスのあるスペースはどういうスペースなのかと。思っていたが、母親などがバッグなどの荷物を置き、少しの間打ち合わせをするなどに使われているようだ。

図書館：親子で利用するなど、ファミリースペースという使われ方もされて

いるようです。

意見：返却された本が一時置いてあるブックトラックは、こんな本が読まれているのかとわかり、楽しくいい感じがする。

意見：雑誌をもっと充実してほしい。釣りなどもっと趣味の雑誌や週刊誌があってもよい、また、女性誌が多いような感じがする。図書館運営協議会でも出されたと思うが、ダブって所蔵しているタイトルが多く、その辺のバランスを考えたらどうか。

意見：1年分の雑誌は書架に出し、その他は閉架にすれば多くの雑誌を所蔵できる。利用者の中には、ぱっと見て読んで返す人も多いと思うので、雑誌の在り処・表示をわかりやすくすることが必要である。

図書館：並木図書館では、雑誌を閉架所蔵するスペースがなく、所蔵する雑誌はすべて開架で所蔵しています。

意見：月刊国民生活などの消費者向け、あるいは介護にかかる雑誌を所蔵していることはいいことだと思う。見つけやすいようにしておいてほしい。

意見：利用者用端末機から上・中・下のある本を予約するとき、バラバラに予約受けとり、または、3冊揃ってからの予約受けとりできるなど、希望に沿った入力ができないか。

図書館：それをしようとする、システムが非常に複雑になってしまうので、現状ではできていませんが、利用者用端末機や自宅のインターネット端末でもできるように、現在システムを構築しているところです。

平成 20 年度第 2 回国分寺市図書館利用者懇談会（本多図書館）

日 時	平成 21 年 1 月 17 日（土）	午後 4 時～5 時 30 分
場 所	本多公民館 集会展示室	
参加者	市民 3 人	

1. 図書館サービスについて

意見：他区から市内に越してきて 10 年になる。当時は全館 17 時閉館で働く人にとっては不便に思った。利用者も限られていたと思う。夜間の開館が水曜日 1 日から平日 4 日へと徐々に拡大していてよいが、都心で働いていると 20 時までに来られない。21 時頃まで開館してほしい。駅前で予約の受け取りだけでもできるとよい。夜間の利用実績はどうか。

図書館：17 時から 18 時までには利用があるが、1 時間ごとに減っていきます。19 時から 20 時の利用は少ないです。

意見：公民館は 22 時までで、潜在的な利用者はいる。

意見：西国分寺の図書館設置はどうなったか。

図書館：5年前に文化会館の建設にあわせて検討をされたが、その後計画が変更になり、現在は図書館設置の予定はありません。

意見：国分寺市では中央図書館はないのか。

図書館：本多図書館は中心館ですが、中央館ではありません。地域の各図書館を充実させていきたいと思っています。本多の蔵書は約13万冊です。図書館運営協議会より、幅広く資料を集めた中央図書館をとという意見もいただいています。財政面のこともあり今すぐには困難な状況です。

意見：ここ10年の図書費の推移はどうか。

図書館：減少傾向ではありますが現状維持に努めています。「子ども読書活動推進計画」を推進していくために、児童書の充実を図り別枠で140万円の予算をいただいています。

意見：学校図書館の予算とは別なのか。都からの補助はあるか。

図書館：別です。補助はありません。予算面ではどの市も苦勞しているようです。

意見：予算はどのように組むのか。

図書館：21年度予算の場合、20年の10月から検討が始まります。基本的には前年度の実績により予算を組みます。

意見：返却について、昔は利用者が戻していたが今は変わった。棚が乱雑になるからか。

図書館：整理の面もあります。職員が戻してほしいという要望もありました

意見：小平市との相互利用をしてほしい。協議をもったことはあるのか。

図書館：具体的な協議はしていません。図書館に限ったものではありませんが、互いの公共施設も含めて協力しあえないか考えています。小平市など北多摩の5市は、以前から相互利用をしています。今後の連携については互いの市がタイミングよく協力する意向をもてればよいと考えています。

意見：リクエストした本がなかなか来ない。パソコンから自由に予約ができるようになったことで、本が押さえられ、回転が悪くなった面もあるのではないかと。本当に読みたい人は来館すると思う。それほど読みたなくてもクリックしてしまう人も半分くらいいるのでは。

図書館：本の回転を早めることは大切ですが、人気のある本は複本を購入しますが、予約が100人200人の時もあり、やはり待つていただくこととなります。様々なリクエストの手段を用意するため、インターネット予約も取り入れました。

意見：インターネット予約した本は置き置きを2、3日にしてほしい。

意見：すぐに来館できない場合もある。

図書館：様々な意見を聞く必要があると考えています。

意見：新刊は2ヶ月くらいインターネット予約を禁止にできないか。

図書館：現状、予約できるから利用したいと思われる方もいらっしゃるの
難しいです。

意見：小説など借りたいときに「当館は貸出中で他館にあるので2、3日で
取寄せる」と言われるが、利用者の心理としては今借りられなければ
読書意欲が薄れてしまう。

意見：昔は永く待たなくても読めた。

図書館：平成10年に80万冊だった貸出冊数が平成16年には100万冊を超
え伸びています。一方で図書費は減少傾向にあるため、複本数が追い
ついていないのが現状です。早く読みたいというご希望は理解できま
す。職員もよりよいサービスができるよう努力していますが、複本数
に限界があり、なかなかすべてのご希望に応えられていない状況です。

2. その他

意見：利用者が、自由に寄贈をしたり持ち帰りができる、リサイクルコーナ
ーがあるとよい。

意見：寄贈希望の利用者は多いと思うが、自分の本が図書館で使えるものか
基準がわからない。

図書館：寄贈本はまず見せていただき、図書館で使えるものは活用するなど
図書館で判断させていただいています。

意見：利用者懇談会があることを知らなかった。たまたま通りかかって知り、
参加した。

図書館：これまでも開催しており、今年度は2回目です。平日や土・日、
昼・夜と市内各館で調整して開催するなど、お出でいただきやすいよ
うな時間帯の設定しています。

平成20年度第2回国分寺市図書館利用者懇談会(いずみホール)

日 時	平成21年1月25日(日)	午後2時～3時30分
場 所	いずみホール	視聴覚室
参加者	市民4人	

1. 利用者用端末機の説明

本多図書館駅前分館商用データベースの紹介

意見：図書館ホームページでの検索がうまくできない。

図書館：トップページの「簡易検索」は書名・著者名などで検索できます。
and 検索や or 検索もできるようになっています。

図書館：図書館ホームページで「ズームサイト」をダウンロードできます。

文字の拡大や背景の色を変えたり反転表示など、ルビ（日本語およびローマ字）や音声読み上げなどができます。お試しください。

意見：図書館のデータ入力の仕方によって、検索できたりできなかったりする。

図書館：本のデータは既製のものを使用していますが、既製のものがないときは手作業で職員が入力しています。

意見：貸出時に受け取るレシートに書名が出るようになったのはよかった。利用カードに借りると書名が表示されるカードもあるようだが。

図書館：リライトカードは便利ですが、価格など課題もあります。

意見：商用データベースは、駅前分館でしか使えないのか。

図書館：現在は1 I Dなので駅前分館でご利用いただいています。図書館と
いえば本というイメージがあるかもしれませんが、今はインターネット情報やCDなどもあります。

意見：データベースについて、駅前分館で定例の講座をしてはどうか。

意見：新聞の縮刷版や多摩版には、どこまで出ていてどこの図書館にあるなどの説明会があるとよい。

図書館：検討します。

2. 図書館サービスについて

意見：子ども読書活動推進計画のパブリックコメントに対すご意見のまとめについてだが、市報に掲載されたのと同様のものが、各施設に備え付けられているのか。全件が載っているもので確認をしたいのだが。

図書館：市報掲載のパブリックコメントへのご意見は、49 件のうちの抜粋であり、全件ではありません。各施設においてあるファイルには、全件掲載しています。

意見：ある人が提出した意見が掲載されていないように思うのだが。

図書館：同じようなご意見は、まとめています。

意見：投稿した意見を原文そのまま公開しているものはないのか。

図書館：市のパブリックコメントの公表の仕方は、いただいたご意見を概要にして公表しています。

意見：原文を見たいと思うが、公開してもらえるか。

図書館：公開できると思いますので担当に確認します。

意見：学校への読み聞かせがとても増えており、個人で対応するには限界がある。図書館の事業として取り組んでほしい。

意見：他市での取り組みの事例もあるので、協力団体や個人を集め人材バンクのようなものをつくるなどしてほしい。

意見：折角読み聞かせの講座をし、裾野を広げているので、次の段階としてその講座の受講者たちの活用を考えてほしい。

図書館：次の課題として図書館運営協議会でも協議していただくようにしたいと思います。

意見：共催の講演会を図書館と別の施設で行ったが、図書館からたくさんの本を用意してもらった。陳列しているだけではもったいない。

図書館：端末を持っていきその場で貸出しすることはできるように考えたいです。

意見：駅前分館は駅に近く便利で、パソコンも使えてよい。本多図書館に行ったらフローリングがとてもきれいだった。雑誌コーナーは陽が当たる場所があるが、全集の並んでいる棚にも陽が当たっている。全集は図書館にずっとあるものだと思っているので気になる。

図書館：吹き抜けのガラスは色つきガラスにしました。明り取り窓にもフィルムを貼ってはいます。児童書のピンクや赤の背文字はどうしても色が飛びやすいです。

意見：選定・除籍基準に基づいて日々業務を行っているのだろうが、見直してもよいのではないか。

図書館：基準がつくられたのは図書館運営協議会の設立以前のこと、まだ図書館運営協議会では議論をしていただいていません。前回の教育委員会の諮問が大きなテーマだったので、今後はテーマを絞って協議していただこうと思っています。協議項目にあげて見直してもらうことも必要だと考えます。

意見：リサイクルコーナーにあった除籍された本は、市内に三冊あるので、除籍になったのだろうが、まだ使える本なのでかわいそうだった。

意見：いずみホールブックポストをこの会が始まる前にあけていたようだが100冊くらいか。

図書館：200冊くらいになると思います。

意見：毎日この前を通っているのに、まだ知らない人もいます。

意見：泉町に駅前分館のような貸出窓口があればいいと思う。

意見：利用者懇談会は参加者が少なくても続けていってほしい。

図書館：貴重なご意見ありがとうございました。

平成 20 年度第 1 回国分寺市図書館利用者懇談会(恋ヶ窪図書館)

日 時 7 月 22 日(火) 午 2 時 30 分～ 4 時
場 所 恋ヶ窪公民館 会議室
参加者 市民 4 人

子ども読書活動推進計画やその他図書館に関する意見

意見：内容の充実した計画を作っているが、国や都の制定から 5 年たっているが、他市の案を雛形にしたのか？

図書館：素案の段階では他市のものも参考にし、その後、利用者懇談会の意見も取り入れ、国分寺市としてのものを作成した。

意見：実現していくには市民が参加しなければならないということですね。

図書館：そうです。

図書館：子ども読書活動で国分寺市の特徴は、市民が学校で読み聞かせを行っていることが多い。学校図書館の充実をもとめる意見が多かった。子どもたちへの読書の強要は良くないという意見があった。

意見：朝の読書、どれくらいの頻度で行っているのか。

図書館：小学校は全校で行っている。

意見：山形の朝陽小学校など読み聞かせはプラスの評価がある。子どもは読書などではなくインターネットなども触れる機会があるので、さまざまな読書のメリットを相対的に打ち出していく必要がある。
学校図書館に予算措置されているものは 100 パーセント図書館の充実に合わせているのか。

図書館：学校の予算のことは図書館では応えられないが、国分寺市は学校図書館の図書費が充実している。3 小 4 小 5 小を図書指導担当の配置のモデル校にして 前向きに活動している。

意見：団体貸出をするといっているが、上野の図書館（国立国会図書館国際子ども図書館）からの団体貸出の利用なども考えていくのはどうか。
洋書など市では買えない様なものを借りていくのが良いのでは。

図書館：国分寺市は学校クラス単位の団体貸出が多い。上野の図書館の件は調査する。

意見：この懇談会の位置づけは？専門的過ぎる。

図書館：。懇談会の主旨は、地域の方のご意見を伺うことなので、多岐にわたるご意見を伺いたい。

意見：この 4 人という少人数の意見で懇談会は成立するのか？

図書館：数多くやって意見を集めたい。図書館運営協議会でも協議してもらっている。懇談会でいただいた意見については、出来るだけ反映さ

せていきたい。ブックポストも懇談会の意見をもとに設置した。

意見：7月31日が図書館運営協議会で、利用者懇談会は8月5日までとなっているが、懇談会の意見を7月31日協議会に反映させるべきでは。

図書館：協議会が8月に任期が切れることもあり、7月31日になってしまった。

意見：予算特別委員会の議事録は、ホームページにもまだ載っていないが、借りたと思ったら貸出中だった。定例議会の議事録も恋ヶ窪は貸出しできる。館によって貸出不可のところと貸出可のところがあるとの説明があったが、せめて、新刊の間は貸出をせず図書館に置いておく方が良いのでは。

図書館：検討させていただく。以前、貸出希望の意見があったので、恋ヶ窪は貸出をしている。

意見：1冊しかないものを貸出ししてしまって良いのか。雑誌のように、新刊のうちだけ禁帯にするのはどうか。見たいときに見ることが出来ず、貸出しが早いもの勝ちになるのはどうかと思う。地域資料や議会資料は書店で買えない特別なものである。

図書館：市議会資料などは3部送られてくるので、恋ヶ窪図書館・駅前分館・保存分となっている。議会資料はなるべく早く登録し、書架に置くようにしている。雑誌のように一ヶ月禁帯にするか、検討していく。

意見：複本があれば、貸出ししても良いと思うが、地域資料の書架が一杯なので、その整理が必要では。

図書館：駅前分館は館内にして、恋ヶ窪は貸出し、オープナーで閲覧できるようにするという案もある。

意見：ホームページで図書館の本は検索できるが、オープナーの本は検索できない。

意見：新システムではクロス検索はできるのか。

図書館：今も出来るが、これから利用者端末にキーボードも置いてクロス検索などできるようにしていきたい。

意見：近隣の図書館は民営化されているが、国分寺市はどんな流れなのか。

図書館：当面直営でというのが教育委員会としての考え。

意見：総務省が民営化は慎重にやるべきだと都道府県に申し渡している。国の方は非民営化に傾いている。

図書館：文部科学省は最初、民営化にそぐわないと以前に言っていた。指定管理者制度の導入を意図している。国も揺れている。

意見：図書館運営協議会でどんな議論をしているのか、どんな結果なのかかわ

からない

図書館：協議内容の要点記録は地域資料として受け入れしている。リアルタイムに登録できないが出来次第登録するようにしている。

意見：決定したあとではなく、決定する前の協議会の議論が知りたい。

意見：利用者懇談会は、全館で行わず 2 館か 3 館でまとめてやるのはどうか。

図書館：検討していく。

意見：市内に大学図書館があるが、貸出できるのは東京経済大学しかないのか。

意見：学芸大は、どの方でも借りられるようになったはず。一ツ橋・法政・明治は絶対に貸出も閲覧もしない。

図書館：大学図書館の許可があれば、紹介状を作って、資料を限定して閲覧するだけなら行っている。

意見：期限内に返されてない本が多い。紛失した本もある。その利用者への対処の仕方はどうなっているか。貸出制限などはしているのか。

図書館：国分寺市は貸出制限はしてない。多摩地域でもやっているところは少ない。電話やはがきによる督促を行っている。利用される方のマナーの問題だがこれから顕著になれば規制していくことも考えていかざるを得ないという意見もある。

意見：除籍の仕方について聞きたい。書店で人気の本が除籍されてリサイクル棚にあったが、そのような人気の本を除籍するのはどうか。

図書館：ご指摘のあった本は、図書館に複本のある本だった。収納スペースの関係で、新刊を入れれば古い本を捨てる必要がある。除籍しないほうが良い本の意見はその都度聞かせていただきたい。

意見：ブックポストは絶対反対。本が傷むのに、なぜ容認したのか。借りるときだけ図書館に行って、返すときだけ近いところだというのは良くない。

図書館：西国分寺駅前に図書館ができれば一番良いが、まだ先が見えない。近くに図書館がなく要望が強いため設置した。ブックポストは本が傷むのは確かだが、ブックポストがあることで図書館を利用してもらえる人が多くなればと思い設置した。市民の方の中でも意見を議論していつてもらいたい。

平成 20 年度第 1 回国分寺市図書館利用者懇談会（並木図書館）

日 時	7 月 2 3 日（水）	午後 1 時～ 3 時
場 所	並木公民館	和室
参加者	市民 8 人	

1. 図書館のサービス・利用環境等について、

意見：前から申し上げていることだが、開館時間を早めることを検討して欲しい。閉館時間を1～2時間繰り下げることのニーズも多いと思うが、今後、並木の地域でも退職して家にいる人が多くなり、その人たちは朝が早く、図書館を今より早い時間から利用したいと思うので、開館時間を早めて欲しい。

図書館：開館時間の延長については、現在、職員による検討委員会にて検討中であるので、その委員会へ報告したい。

意見：並木図書館の存在を知らない方が多いのではないかと。公民館だと思っている方が多いようである。2階の窓に図書館と書いてはあるが、はっきり図書館とわかる表示やPRの工夫が必要である。

図書館：検討したい。

意見：図書館に長くいると喉が渇くので、お茶などの飲み物を飲んでも構わないか。

図書館：資料等を汚す場合があるので、館内ではご遠慮いただいている。1階の公民館ロビーに清涼飲料水の自動販売機が設置され、イスとテーブルもあるので、そちらをご利用いただきたい。

子ども読書活動推進計画について

① 9 Pの調べ学習のための図書の充実を図る→

- ・国分寺市の学校図書館の蔵書は充実していると思うが、置き場がない。空き教室を利用などして本の設置場所の確保をしてほしい。棚のゆとりを考えるのは大切であり、余裕があれば、調べ物をする場所と棚を別にするとかできるといい。
- ・調べ学習をひとりでできない子もいる。本来学校ですべきだろうが、市立図書館がリストなど作り学校へ入ってほしい。
- ・PTAとして学校図書館に関わっているが、学校図書館での選定に市立図書館として助言が欲しい。学校図書館で廃棄する本を子どもたちへリサイクルできるといい。(PTAで、学校に聞いてみたが、市の財産なのでできないとのこと)
- ・学校図書館を充実させるには、市立図書館との話し合う場を持つことが大切であると思う。

② 3 Pの計画の実現に向けて→

- ・取り組みの基本的な考え方として～6行目(どの子にも平等に提供します)とあるが、とても大切なことであるが難しいところでもある。

子ども一人一人の動きが見えなければ、本当の意味での計画にならないし、部署としては一生懸命やっているが、横のつながりがないため、計画だけで終わってしまう。地域・家庭・学校が一つになること。つまり学校と市立図書館とか横の関係をとることが大切。また、家庭も千差万別であり、価値観の違いもある。親への啓蒙も必要。

③ 10Pの中学生に向けて→

- ・中高生にとっての魅力あるコーナー作りが大切。
- ・並木図書館においては、スペースがないので難しいが、興味をもたせる展示の工夫など必要。

- ・中学校へのブックトークをぜひ行って欲しい。

ブックトークを知らない先生もいるのでPRした方がいい。

④ 子ども読書活動推進計画は0歳から18歳までだが、ある世代にウエイト

を置いてすすめた方がよいのではないかな？

- ・おはなし会に来るのは親の考えであり、親が来なければ機会がない。多くの子どもたちにそのような機会を持ってもらうには、小学校の時に力を注ぐべきではないか。学校は学びの基本であるし、そこには子供たち全員がいる。

- ・自分が本に出会ったのは小学校の図書室であった。どこかにウエイトを置くとすれば、ロングセラーの絵本も生きているので、乳幼児期と読書量の多い小学生を（2年～3年生）でどうだろうか。

⑤ 保育園で「ひよこえほん」のリストをもらったがその意図がはっきり分からなかった。このリストのセットを保育園に貸出とかすると良いと思う。

図書館：以上、本日いただいたたくさんのご意見は、策定を進めている「子ども読書活動推進計画」の中にできるだけ反映させていきたいと考えています。

平成20年度第1回国分寺市図書館利用者懇談会(いずみホール)

日時 7月25日(金) 午後2時～3時30分
場所 いずみホール 視聴覚室
参加者 市民9人

1. 子ども読書活動推進計画について

意見：学校と図書館の交流をさらに進めていくことが必要だ。年2回と言わず、図書館と学校がもっと突っ込んだ話し合いをするべきだ。学校から言ってこないなら図書館から歩み寄ることが必要。

意見：小学校2～3年生は読書をしている。定着させるために何かしてほしい。

意見：乳幼児の段階から、例えば健康推進課と協力しながら進めてほしい。

意見：乳幼児検診時にリストを渡すと同時にその場で何冊か読んであげられるともっとよいと思う。

図書館：乳幼児への絵本リストを健康推進課でも配布するようにする。健康診断のときに図書館職員が出向き説明できるようにしていきたい。

図書館：健康診断の時などに貸出しができる仕組みができないかと考えている。

意見：乳幼児への絵本リストは、カラーだともっと手に取られやすいと思う。

図書館：今まで図書館は来館してくださる利用者へのサービスに努めていたが、今後は外に出て行き、市民に教えていただきながら工夫していきたい。

意見：モデル校になった4小の図書館便りに「公共図書館をもっと使おう」という内容の記事があり、変わってきたなと思った。

意見：子どもが本を手にもふれられる場所が身近にあることが大切。図書館が遠くてベビーカーでは通えない。小学生にとってもこの地域から図書館に行くのは遠い。移動図書館があればいいと思う。

意見：この地域で文庫が講演会をしても、図書館が遠いので、そろえた本がその場で貸出しできない。また、会場の確保も難しくいつも大変である。

意見：もとまち図書館が講演会などの時に、連携して良くしてくれている。

意見：モデル校3校のうち、4小担当者はモデル校化以前からの経験者だが、3小・5小の方は経験者ではない。図書館から学校の支援や研修の支援が必要。

意見：児童館、学童保育所の読み聞かせプロジェクトに期待している。

図書館：プロジェクトでよい本を増やし、長い目で見て子どもにとってよい形をつくっていきたい。

意見：小学校中学年・高学年用の団体貸出用セットは何時から配るのか。

図書館：2学期の途中くらいからの予定です。

意見：ある学童では登所して20分を読み聞かせに充てている。発達障害の子どもがクールダウンするなどいろいろな意味で子どもたちの心が整う。

- 意見：読み聞かせの講習会をしていただけると、読み聞かせの仕方がわからなくてしりごみしているような人の助けになると思う。
- 意見：読み聞かせの仕方や本の選び方など教えてくれる人がたまたまそばにいて助けられた経験があるが、図書館が講習会で取り上げてもらえると思う。
- 意見：もとまち図書館の講座が主体になってお話の自主グループが立ち上がったが、将来的に図書館が加わった形でいろいろな場所に語りにいければいいと思う。
- 意見：利用者懇談会で出た意見を、運営協議会で話す時間がなかった。西国分寺駅前のブックポストの設置はわかりやすいことだが、懇談会で出された意見がどう反映されたかわかりにくい。
- 意見：この計画の実現のために重要なことは、①乳幼児期からの施策の充実②学校と図書館の意思疎通を図る、と考えている。
- 意見：西国分寺駅前にブックポストを作ってくれて、また4小の図書指導担当常駐してもらいよかった。

2. 図書館サービスについて

- 意見：国分寺駅南口にブックポストがほしい。
- 図書館：国分寺駅南口のブックポストの予定はありません。ブックポストは回収や安全面など維持管理にいろいろ気を使うことが多い。西国分寺のブックポストは今のところ特に問題なく運営できている。
- 意見：高齢者は返却期日を気にする。気になっている本を返すだけでも返したい。自宅から遠い図書館を利用するために、高齢者は子どもの世代に頼らないと本の貸し借りができない。西国分寺に図書館がほしい。
- 図書館：平成19年度からの長期総合計画に図書館建設は入っていない。
- 意見：泉町に図書館があるといい。
- 意見：リクエストした本をここまで持ってきていきますという仕組みがあるといい。
- 意見：泉町のブックポストの収容能力は
- 図書館：カタログでは200冊となっている。毎日回収できないため2台設置。
- 意見：本多のYAコーナーは一般の本棚から遠すぎる。書架の配置を検討してほしい。
- 図書館：一般書と児童書のコーナーの境目にある壁のあたりがどうかと考えている。

平成 20 年度第 1 回国分寺市図書館利用者懇談会（本多図書館）

日 時 7 月 30 日（水） 午後 2 時～ 3 時 30 分
場 所 本多公民館 実習室
参加者 市民 6 人

1. 子ども読書活動推進計画について

意見：乳幼児向けリストはとても良いが、若い母親たちがどのように手に取ってくれるのだろうか。

意見：お話グループの活動で、児童館では手遊びなどもしている。読書へのきっかけになれば。

意見：何を讀んだらよいかわからないお母さんたちにリストは良いと思う。

意見：私立の幼稚園や保育園への働きかけは難しいのでは。

図書館：調査の結果読み聞かせなどは充実している。リストが欲しいという要望があった。リストを配ったり団体貸出しをしたりしている。

意見：以前はお話し会に来ていた学童保育の子たちが、人数が多いせいで連れてきてもらえなくなってしまった。

図書館：図書館へ来てくださいというスタンスだけではなく出かけていくことが必要。図書館に来られる人ばかりではない。

意見：おはなしグループはこの子ども読書活動推進計画のどの部分にあたるのか。

図書館：現状やっていることは書いていないが、乳幼児から小学生の部分にあたる。

意見：「ママ・パパ・赤ちゃんのためのブックリスト」を見て、お父さんがお膝に抱っこして赤ちゃんに読み聞かせをしている。今は形から入る時代なのか。

意見：小学校読書活動推進モデル校に 10 校中 8 校の申し込みがあったそうなので、熱心さが伺われ学校にも期待が持てる。

意見：おはなしグループの活動で読み聞かせの前に伝承遊びをよくやっている。お母さんや先生も知らないことが多いので伝えていくことも大切に思う。

意見：親子で座って読めるスペースがあるとゆったり読書できて良い。

意見：YA コーナーは奥にあるので気付かない人もいるかもしれない。

意見：中学生はなかなか読書に結びつかないが、小さい時に読書の土台ができていればいずれはまた読むようになるのではないかな。

2. その他の意見・質問・感想

意見：駅前分館はまだ空いているスペースがあるようだがどのくらいの広さなのか。

図書館：80 m²。3000 冊収容できる。

意見：駅前分館はリクエストをしたり本を受け取ったりの窓口として使えて便利。

意見：西暦と元号に分かれている資料があり見難い。駅前分館に対照表を貼ってもらえて良かった。

意見：隣接の立川・小平・小金井とも相互利用を考えてほしい。

図書館：検討はしているが、国分寺市民サービスを第一に考えなければならぬ点と本多図書館のキャパシティの問題があり難しい。

意見：将来的に導入予定と聞いている自動貸出機は利用者との触れ合いがなくなりそうである。

平成 20 年度第 1 回国分寺市図書館利用者懇談会（光図書館）

日 時 8 月 1 日（金） 午後 2 時～ 3 時 30 分
場 所 光公民館 中会議室

参加者 市民3人

子ども読書活動推進計画と図書館サービスについて

意見：1つお願いなのだが、もし予算の余裕があれば、5館のうち1館でもいいのでカラーコピーを設置してほしい。新聞のカラー部分や図鑑などを取る際には、是非あってほしい。

図書館：現状を説明すると、市役所全体で一括リース契約をしている。安価になるのでメリットもある。次回契約の際にはカラーコピーの機能も要望してみたい。ただリース料は思いのほか高いものとなる。他市の大きな図書館ではカラーコピーも設置するようになってきたが、料金は結構高い。

意見：棚にある本にインターネット上で予約できるようにすると、あとの処理が大変で業務が増えるのはわかる。

意見：インターネットで予約をかけてきたものに、返事をメールでなくて電話にすると大変だと思う。メールでいいのでは？

図書館：現在は電話・メール自由選択で、実態は、返事連絡の申し込みはメールより電話の方が多い。

意見：図書館から一度に借りられる本の数が12冊でとても多いので、いったいどのように読めるのかと思う。全集ならば1～12巻まで読みたかったらまた明日くればいい。来館して自分の目で見て選ぶのが、ふつうではないか？何が「公共」なのかを考えたほうがいい。機会均等を大切に、公共と個人の範囲を超えないようにしてもらいたい。便利さを追求すれば、税金が必要となる。もう一度立ち止まって考える必要があるのではないか。市にお金もない、何にもない中で、サービスはできるのか？一度はじめたサービスは簡単にやめられないので、慎重に考える必要がある。あまりサービスばかり考えていると、図書館自身の首をしめることになったら困る。

意見：いつも光図書館を利用して、いろいろ勉強させてもらっている。夏も冬も寒いので、空調のシステムを考えてもらいたい。

意見：子ども読書推進計画自体を知らなかった。一体、子どもの読書離れなどというのはいつからなのか。自分たちが子どもの頃の環境に比べたら、はるかに恵まれている。

図書館：全国読書調査などはここ何年も同じような状態で、「読書離れ」ということが強く言われ、国会等でも議論され、対策的な法律ができ、市でも動いている。

図書館：子ども一人ひとりの統計的な読書量が落ちていると言われる現状の中、図書館はその機会を提供する。図書館の貸出自体はここ10年位

で、年間80万～100万冊に増えていて、世代や層も変わりつつある。

意見：政策として、読書好きな人間を作るなどというのは、絶望的なのではないか。

意見：こども読書推進計画の中で、大人に向けて、大人を育てるための講演会や講習会をする等あるが、中学生に向けても読書会や新聞づくり等を応援する等して、中学生自身が主体的に考えていくことを大切にしたい。

意見：図書館としては市民ボランティアをどのように考えているのか、聞いてみたい。職員減らしとはとらえずに、市民を育てるという方向で考えられないか。

図書館：小平市などは返却された本を拭いてもらっている。国立市では書架整理や植栽の手入れなどにボランティアが入っている。ただ、図書館で作業のための部屋確保や機材等の準備が必要となる。

意見：利用者懇談会に来られる人が少なく、声をかけても来ない人が多いので、ご意見箱に利用者懇談会のスケジュールやお誘いのPRを出したらどうか。

意見：来ない人はどうして来ないのかを知りたい。また利用者懇談会を何館かまとめて一回でやる方法を考えてみたらどうか？ただ「利用者懇談会開催」と言っても利用者は来ないのではないか？もっと具体的なPRをしたらどうか。

意見：インターネットの使い方を説明するなどのオプションをつけたら、参加者が増えるのではないか？利用者懇談会に参加してよかったと思え、プラスになるようにしてほしい。

図書館：そのような企画を行ってもいいと考えている。初歩的なことだが利用者端末の使い方の質疑を受けたり、閉架書庫を案内したり。

意見：地域資料についてだが、各館で分類がだいぶ違っているように思える。地域別なのか、項目別なのか、分かりにくい。求める資料がすぐ出てくるようなものにしてほしい。

図書館：三多摩郷土資料研究会でつくった分類に準じているが、それは原則的に主題別になっている。求める資料がすぐ出てくるようにするためには、地域資料のスペースがもうすこしゆったりできないと詰まりすぎでわかりにくい。

意見：利用者懇談会に出た意見は知らせてもらっているが、そこで出た意見を図書館協議会で議論する時間が少なかったことを反省している。

意見：行政へのボランティアの仕方については、お互いの気持ちが必要。例えば、本の寄贈などがあるが、内藤地域センターでは地域祭りの際に2日間に寄贈本を1冊10円で売っている。それを運営費に当ててい

る。

意見：学校図書館についてだが、教師が読書指導を十分に出来るようにしてほしい。また、こどものコーナーや書架にもっと大人が入りやすくしてもらいたい。

平成 20 年度第 1 回国分寺市図書館利用者懇談会（もとまち図書館）

日 時	8 月 5 日（水）	午後 2 時～ 3 時 30 分
場 所	もとまち公民館	会議室
参加者	市民 2 人	

1. 子ども読書活動推進計画について

意見：子どもの読書は母親のお腹にいるときから始まるものである。健康推進課と連携して健康診断時に本の紹介を行ったり、「ママ・パパ・赤ちゃんのためのブックリスト」を母子手帳の中に挟んで一緒に配るのは良いが、今現在は実際に何か行われているのか。

意見：健康推進課の窓口では都から配布されたものがたくさんあるが、図書館の作成した「ママ・パパ・赤ちゃんのためのブックリスト」をいずみプラザや役所の窓口などに置いて、切らさないように常時置いておくようにしたらどうか。

図書館：計画では3・4ヶ月検診・1歳6か月検診時に図書館の職員が「ひよこえほん」のブックリストの配布や本の紹介をする事業を予定している。先日、実際に検診が行われている時に、見学に行き、健康推進課の職員の方と打ち合わせを行った。準備が整い次第、20年度中に行っていきたい。

図書館：「ママ・パパ・赤ちゃんのためのブックリスト」は最近出来上がったものなので、これから増刷して、各窓口に早い時期に置いてゆきたい。

意見：「ママ・パパ・赤ちゃんのためのブックリスト」は保護者に対する啓発で、ホームページに掲載していくと思うが、費用の点で無理かもしれないが、啓発として、黄色い用紙を広げて張り紙（ポスター）を貼るといえるのはどうか。見てくれる人が少数でも貼ってもらえば見るお父さんがいるのでは。

図書館：貼れるように考える。

意見：学校図書室の図書指導担当の常駐化については、子どもの読書環境を考えていくためには、必要だと思う。今まで全日配置はとっくに導入されていたと思っていた。

図書館：昨年までは小学校は週2回、中学校では週1回図書指導担当が来ていた。国分寺の学校図書館は1万冊弱の蔵書で、予算は100万円くらい持っている。多摩地区では上位にある。司書教諭は12学級以上の学校に担任、担当教科などを持ちながら兼務をしている。

図書館：今年度から第3・4・5小が3校、モデル校として常駐化を行っているので、1年間、効果を含めて配置していければと思っている。

意見：高学年になる程、読む本の数が減ると説明があったが、ある県で剣道の関係でいうと、4年生ぐらいになると出席する子どもが減っていく。塾に行ったり、現実的に時間の配分が難しくなる。

意見：小学生では日曜日に図書館には来ているが中学校になると新しい友達も出来て行動範囲が広くなり、おじいちゃんおばあちゃんも孫が小学生の時は本のお話をするが、中学生になると子どもの行動がつかめなく

なっていると言っていた。子どもに本を読ませるのは難しい。

意見：市民との協働の取組のイメージがわからない。例えばどのような事があるのか。

意見：学校での読書週間は行っているのか

意見：地域での読み聞かせの講習会はどのような形で行うのか。

図書館：市民との協働は現在、もとまち図書館では学校のおはなしの出前で本の紹介、語りなど地域文庫の方と一緒にしている。図書館の中ではおはなしグループさんに本の読み聞かせをして貰っている。また、地域では児童館などにおはなしに入っている。

図書館：春の読書週間、秋の読書週間など学校により設定している。現在はほとんどの学校が読書に力を入れている。図書館の職員が全校生徒の前で本の紹介をしたりもしている。

図書館：学校での朝の読書の時間に保護者が本を選びに図書館に来て相談をよくされる事や、この度の計画案をつくるための取材で保護者の方がどんな本を読むのか迷っていることがわかったので、職員が講師になって本の紹介や読み方の技術も含めた講習会を行いたいと思っている。

意見：中学は地域の子どもが市の中学校に行くが、高校は市民が皆、地域の高校に行くわけではないので、どういうことが出来るのか。

意見：高校生は数字だけで悪いという判断をしないで、小学校低学年の子どもについてどのようにしていくのが大切である。図書館で小さい子どもが10冊くらい本を借りている。お母さんが一緒に借りていく姿もみるが、感心する。

意見：ある人で小さい頃、お母さんが新聞を読んでそれを字に書かされていた。現在、仕事ですぐに文章にすることが出来、役立っている。読書も回帰的で、小さい頃の経験がまた大人で生かされるのではないか。

意見：東京都の子ども読書活動推進計画は平成15年度に策定されている。40都道府県のうち147市で推進計画が出ているところがある。他市を見てみたいがどうか。

意見：経験から本を読むことと勉強とは違うと思う。

図書館：東京都の計画は貸出が出来る。全国の市の計画を全て収集している訳ではないが、東京都の中の既に策定済みの市はこちらで収集しているのでご覧いただける。

意見：この計画のこれからの予定は。

図書館：文教委員会や教育委員会に中間報告をし、意見を伺っている。文教委員会・社会教育委員の会議や市の各担当職員の意見を伺っている。パブリック・コメントを実施し、教育委員会で承認されれば、秋には

策定していく予定。20年度の半分も過ぎているが、今現在行っている事業も計画には含まれている。今後の事業も実施するための準備を行っている。

意見：本がボールペンのインクやマーカーでしるしをつけられている。マナーの問題で規制が出来ないが啓発としてこの計画で本を大切に扱う文言を入れられないか。

図書館：実際には、図書館で小学生の子どもたちに本の扱いのマナーを教えた機会もあった。本を大切に扱うことは必要なので検討していきたい。

2. 図書館サービスについて

意見：利用者用のコンピュータは職員が使っているものと同じか。

図書館：アクセスしている元は一緒である。

意見：インターネットはどうか。

図書館：インターネットと業務用とは見るところは同じだが、サーバを別にしてしている。

意見：自分の今まで読んだ本を知りたいのだが。

図書館：返却されると消去する。図書館が情報を持っていると危険性が高い。利用者の読書記録は図書館は持っていない。

意見：今度のパソコンは検索しやすくなるか。

図書館：タッチパネルだが、今度はキーボードを使用するものを1台置いて、変換できるものを置くことにしている。また、リクエストカードを書かなくてもプリントアウトできるようにしたいと思っている。利便性を高めるように努力している。

意見：文教委員会の議事録を見ると、ICタグの予算のことを質問していて館長からは財政的に難しいという答えしか出ていない。コンピュータを変える予算は入っているか。

図書館：コンピュータのリース代は出ている。ICチップは金額的な検討はしたが、1枚100円かかるので50万冊だと5000万円かかり、1年で5000万円は厳しいので3～4年に分散するような手法が必要だ。